

第13回 宮津まちづくり会議 報告

日時：平成28年10月21日（金）13:30～15:00

場所：宮津商工会議所 大会議室

1 報告事項

(1) 委員の変更について

(2) 最近の道の駅の取組みについて

→特段意見なし

2 協議事項

(1) 地域振興拠点の具体化に向けた手法について（会議所事業分）

【主な意見】

- ・この地域が発展するような事業形態を作り上げていただきたい。
- ・浜町を核として駅までの市街地を上手くつなげていただきたい。
- ・海の京都 DMO が立ち上がっているところであるが、その反面、個人的には小さなエリアがあまりコミットされていないようにも感じている。地域の個性を活かして、経済効果に結びつけるべき。周辺部との「つなぎ」をどのように構築していくか、今後、行政、会議所、まちづくり会議と一緒に考えていくべき。
- ・我々もそうであるが、市民の皆様からも良い形で受け入れていただきたいので、今回の提案内容（事業計画）を良い形で実現していただきたいと思う。
- ・行政、会議所、まちづくり会議は、しっかりバックアップしていき、これまでの遅れを取り戻し、スピード感を持って進めていきたい。今回の方向性について、行政、会議所、まちづくり会議一体となって応援していくべき。

【まとめ】

- ・今回の意見を含め、行政とも連携しながら会議所内で最終調整を行っていく。

→了承

3 その他

○第2回海の京都グルメ合戦のご案内（10/30（日））

○インバウンド拡大のための講演会のご案内（11/8（火））

4 顧問から

(今井会頭)

- ・道の駅のイメージは、郊外店のような大きな施設のイメージをお持ちの方が多いが、本来は、国交省が推奨している道の駅の役割は、①休憩機能（誰もが気軽に休憩するスペース、24時間の駐車場、トイレ）、②情報発信機能（地域の観光情報や道路情報を提供）、③地域連携機能（道の駅をきっかけにまちとまちとが結び活力のある地域づくり）の3つ。
- ・実際に、道の駅海の京都宮津が登録されてから、周辺部の店舗には良い影響が出ているのは間違いない。道の駅の周辺店舗がさらに頑張れば、もっとお客さんは集客できるはず。
- ・市が道の駅の冠を取っていただいたので、我々はそれをどのように活かしていくかを考えなければならない。
- ・道の駅を拠点に周辺部に人の流れを作っていくためにも、浜町～宮津駅の空間をどう作っていくかが今後の検討課題。（空き店舗の活用、公共交通の利用促進など）
- ・我々の役目の中で分担し前に進めていきながら、今回の提案が実現できるよう、みんな頑張っていきたい。

以上